

報道関係者 各位

田辺市教育委員会
文化振興課

第64回田辺市美術展覧会（書・彫塑部門）審査結果について

第64回田辺市美術展覧会に一般公募された書・彫塑作品の審査を、10月10日（火）に紀南文化会館で行ったところ、その結果は次のとおりでした。

つきましては、報道方よろしく願います。

なお、生花の部の審査については、10月12日（木）の午後に行います。

記

【出品数】

部門	出品数（展示数）
書	53点（53点）
彫塑	10点（10点）

※入賞・入選の詳細は別紙のとおりです

※生花部門は10/12（木）に審査を行います。

○市展開催日程

第2期 10月13日（金）～15日（日） 午前9時～午後7時まで
（ただし、最終日は午後5時まで）

部門	場所
書	展示ホール（1F）
彫塑	研修室（4F）
生花	小ホール（4F）

※表彰式は、10月15日（日）午後3時から、本庁別館3F 大会議室で行います。

■担当

田辺市教育委員会 文化振興課
佐藤（文化振興係・内線5192）
TEL 0739-26-9943

(書 の 部)

講 評

公募出品点数は昨年より2点減少したが、今回も幅広い年代層から力作が出品され感謝しています。

作品の傾向は縦横の大作が多く、漢字、かな、近代詩文、隸書、古典の臨書作品等、作風も多彩で変化に富んだ作品が多く、会場の雰囲気盛り上げてくれています。

各作品はよく書き込まれた練度の高い線質、躍動感と迫力等見応えのある作品が多数ありました。特にしっかりと古典の基礎・基本を学んだ臨書作品等、高校生の活躍が目立ちました。今後とも精進され活躍を期待します。今年も誤字についての指摘がありました。書作する文字を辞書で確認把握してください。

○知事賞には、仮名作品。繊細優美な仮名の美しい流動美を多彩に展開、見事な墨の潤濁が相乗効果を発揮し爽快な表現美を生んでいる。暢達した線、強靱な線が表出され、素晴らしい作品。

○市長賞には、漢字作品。全体的に一貫したリズム感で軽妙な書表現、広くとった行間が清澄感あふれ円熟味のある明るい魅力的な作品となっている。

○教委賞には、漢字4点、かな1点。各作品とも存在感のあるよく書き込んだ味わい深い作品でした。

上位入賞を逸した作品の中にも魅力的な作品もあり来年に期待したい。

今後古典をしっかり学び文字性を大切にして技術の向上と感性を磨き養ってほしい。

No	題 名	ふりがな 氏 名	住 所
1	(知事賞) 咲くかぎり	<small>なかじ むつか</small> 中地 睦華 年齢 (46歳) 職業 (会社員)	和歌山市
2	(市長賞) 唐詩	<small>やなぎもと とうけい</small> 柳本 塘薊 年齢 (26歳) 職業 (教員)	有田市

(教委賞)

3	歳晩書懷	中田 光葉	秋津町
4	蘇東坡詩	上浦 馨衣	目良
5	李白詩	撫養 綜一郎	上富田町
6	袁凱詩	大谷 和風	南新万
7	雪見れば	濱本 芳洋	芳養町

(書 の 部)

(奨励賞)

No	題 名	氏 名	住 所
8	高橋藍川詩	木村 春花	上富田町
9	宿如意輪寺	塩見 蒼神	あけぼの
10	袁宏道詩	濱田 雛河	南新万
11	郭奎詩	西本 松華	新万
12	杜甫詩	小山 加代	白浜町
13	王文治詩	野村 雅真	新庄町
14	奇絶峽看櫻	田中 芳香	明洋二丁目
15	臨木簡	堂面 恵夢	神島高校
16	臨孫秋生造像記	西山 瑞季	神島高校
17	臨「松風閣詩卷」	木田 鮎花	熊野高校
18	勝浦温泉雑吟	高橋 巨佐子	東陽
19	南方熊楠	平 洋子	稲成町
20	山房偶占(藍川先生詩)	古久保 要	上秋津
21	望郷五月歌	杉浦 隆	白浜町
22	島木赤彦の歌	宮本 浩子	あけぼの

(入 選)

23	唐詩	下村 和光	上屋敷一丁目
24	賈至詩	山本 龍榮	龍神村
25	唐詩	浦田 愁扇	東陽
26	唐詩	前田 幸波	神子浜二丁目
27	杜甫詩	北尾 千愛	神島高校
28	唐詩	前川 日向子	田辺高校
29	唐詩	末本 夏希	田辺高校
30	李群玉詩	柳井 真生	田辺高校
31	駱賓王詩	碓井 晴捺	神島高校
32	李商隱詩	船山 響子	神島高校
33	秋思	青木 成蹊	南新町
34	七言二句	後藤 紫映	秋津町
35	自詠詩「中秋観月」	舛岡 松風	磯間
36	杜甫詩	赤坂 ひかり	南部高校
37	崔署詩	鳥淵 健	東山二丁目
38	臨黃庭堅	田中 文海	神島高校
39	臨張瑞	富田 奈甫	神島高校
40	臨董其昌	米澤 実久	神島高校
41	臨集王聖教序	久保 彩乃	神島高校
42	臨蘭亭序	船山 美琴	神島高校
43	臨董其昌	山本 りあ	神島高校
44	満月の彩	赤木 昭子	みなべ町
45	臨「苕溪詩卷」	榎本 彩華	熊野高校
46	曹全碑臨書	和田 直也	熊野高校
47	「花の名」より	松柳 茜璃	神島高校
48	杜甫の詩	長尾 夢咲	神島高校
49	風信帖臨書	尾崎 むつみ	熊野高校
50	江間章子の詞	西出 淑子	たきない町
51	李白之詩	那須 透水	芳養町
52	奉和春日幸望春宮応制	岡 憩花	稲成町
53	島木赤彦の歌	瀧畑 光洋	下屋敷町

(彫 塑 の 部)

講 評

今年出品数が昨年に比べ倍増ただけでなく、その内容も、抽象、具象作品と力作が並ぶ中で、上位入賞作品は完成度が高く迫力があり、甲乙つけがたいものが揃った。また、久しぶりに一般の方からの出品が複数あったことは、嬉しい限りである。今後も息長く制作活動に励まれることを期待する。

知事賞の「ESCAPE- I」は、丁寧な表現力で、完成度の高い力作である。廃墟したビルを彷彿とさせるこの作品は、果たして作者自身の現状からの脱出を意味しているのか…。屋上から空に向かって伸びたハシゴが、観る者に様々な空想を掻き立てる。

市長賞の「二つの四角柱」は、シャープな形体で構成力に優れ緊張感に溢れた作品である。

教委賞の「転2017-A」は、細部の処理に課題はあるものの、大きさ、形、色のバランスが適切であり、テーマを意識した秀作である。

奨励賞の「若葉」は、さわやかさ、やさしさが伝わってくる作品である。丁寧なモデリングも好感が持てる。

奨励賞の「見据える」は、頭像のかたまりから作者の強い意志を感じる佳作である。

No	題 名	ふりがな 氏 名	住 所
1	(知事賞) ESCAPE- I	ゆかわ かおり 湯川 佳応理 職業(学生)	南部高校
2	(市長賞) 二つの四角柱	しばた げんじ 芝田 源治 職業(学生)	熊野高校
(教委賞)			
3	転2017-A	後呂 菜摘	南部高校
(奨励賞)			
4	若葉	山本 千尋	白浜町
5	見据える	大江 奈々	熊野高校
(入選)			
6	想	隣 有果梨	稲成町
7	自刻像	沼田 かやみ	熊野高校
8	自刻像	木本 菜々	熊野高校
9	自刻像	伊藤 佑彩	熊野高校
10	自刻像	柴崎 悠斗	熊野高校